

指定管理業務評価表

施設名	小牧市高齢者生きがい活動施設第1 みどりの里		
対象年度	29年度	評価担当部	健康福祉部
指定管理者名	公益社団法人小牧市シルバー人材センター		
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成30年3月31日		
職員体制	嘱託職員3人		

1. 利用実績

(1) 利用者数 計 5,210 人 (前年度比 約 97.7%)

前年度利用者数 5,332 人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
428人	417人	466人	436人	417人	431人
10月	11月	12月	1月	2月	3月
454人	428人	418人	411人	427人	477人

(2) 増減要因

年間開所日は4日(239日⇒243日)増加したものの、年間延べ利用者数は、2.3%の減少となっている。大きな要因として、男性の実就業会員が2人減少したことが考えられる。

2. 利用者アンケートの結果

実施年度	平成29年度	回答数	—
利用者の 主な意見	作業の繁忙時期、また、会員の欠席の時の応援体制を確立してほしい。		
具体的な 対応状況	指導員による先を見越した受注調整や、余裕のある部門からの応援を適宜会員に要請し対応している。		

3. 収支の実績

(単位：円)

		28年度 (前年決算額)	29年度 (現年決算額)	30年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	16,687,500	14,747,278	14,917,000	
	事業収入				
	合計	16,687,500	14,747,278	14,917,000	
支 出	人件費	8,768,681	8,802,471	9,074,000	
	報償費	0	0	0	
	旅費	0	0	13,000	
	需用費	5,512,971	3,004,207	3,316,000	消耗品費、修繕費等
	役務費	195,118	176,960	290,000	通信運搬費等
	委託費	571,025	571,025	630,000	
	その他	1,528,638	1,512,860	1,594,000	
	合計	16,576,433	14,067,523	14,917,000	

4. 評価

項目	市の評価
運營業務	・協定書に基づいた必要書類が適正に提出され、管理されている。
維持管理業務	・施設内の点検については、委託業者が適正に行っているだけでなく、所長により日常点検が行われている。また、不備や異常が判明した箇所については速やかに修繕を行っている。 ・会員によって構内及びその周辺の清掃が毎日確実にされており、また花壇の水やりや随時樹木の剪定を行うことで施設の美観が維持されている。
サービスの質	・利用者に対する聞き取り調査を適宜実施し、利用者の状況を把握するとともに、適切な対応を行っている。
収支状況及び経費節減	・計画的に修繕が実施され、適正に執行されている。 ・蛍光灯の間引きやエアコンの設定温度管理を徹底することで、経費節減に努めている。
その他 (緊急時の対応等)	・緊急時の連絡体制が整備され、適正に保管されている。 ・安全衛生講習会、安全就業パトロールを実施して会員の安全な就業に努めている。 ・職場体験(学習)を積極的に受入れ、施設及び活動のPRに努めている。 ・消火器の取扱い講習を実施し、会員の安全確保に努めている。

指定管理業務評価表

施設名	小牧市高齢者生きがい活動施設第2みどりの里		
対象年度	29年度	評価担当部	健康福祉部
指定管理者名	公益社団法人小牧市シルバー人材センター		
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成30年3月31日		
職員体制	嘱託職員3人		

1. 利用実績

(1) 利用者数 計 4,578 人 (前年度比 約 90.9%)

前年度利用者数 5,036 人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
402人	389人	395人	397人	392人	387人
10月	11月	12月	1月	2月	3月
418人	389人	382人	336人	327人	364人

(2) 増減要因

年間開所日は4日(239日⇒243日)増加したものの、年間延べ利用者数は、9.1%の減少となっている。大きな要因として、男性の実就業会員が4人減少したことが考えられる。

2. 利用者アンケートの結果

実施年度	平成29年度	回答数	—
利用者の 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温室作業をする上で、肉体的に辛いときがある。 ・ 同じ日に作業をする人とうまくいかなくて困っている。 		
具体的な 対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事量の再配分を図った。 ・ シフトを組み替えることで会員に配慮した。 		

3. 収支の実績

(単位：円)

		28年度 (前年決算額)	29年度 (現年決算額)	30年度 (翌年予算額)	備 考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	16,687,500	14,747,277	14,414,000	
	事業収入				
	合計	16,687,500	14,747,277	14,414,000	
支 出	人件費	8,331,880	8,395,788	8,655,000	
	報償費	0	0	0	
	旅費	2,200	0	14,000	
	需用費	4,313,122	3,357,559	3,547,000	消耗品費、修繕費等
	役務費	187,952	170,513	290,000	通信運搬費等
	委託費	507,585	408,205	401,000	
	その他	1,361,470	1,257,294	1,507,000	
	合計	14,704,209	13,589,359	14,414,000	

4. 評価

項目	市の評価
運營業務	・ 協定書に基づいた必要書類が適正に提出され、管理されている。
維持管理業務	・ 施設内の点検については、委託業者が適正に行っているだけでなく、所長により日常点検が行われている。また、不備や異常が判明した箇所については速やかに修繕を行っている。 ・ 会員によって構内及びその周辺の清掃が毎日確実に行われており、また花壇の水やりや随時樹木の剪定を行うことで施設の美観が維持されている。
サービスの質	・ 利用者に対する聞き取り調査を適宜実施し、利用者の状況を把握するとともに、適切な対応を行っている。
収支状況及び経費節減	・ 計画的に修繕が実施され、適正に執行されている。 ・ 蛍光灯の間引きやエアコンの設定温度管理を徹底することで、経費節減に努めている。
その他 (緊急時の対応等)	・ 緊急時の連絡体制が整備され、適正に保管されている。 ・ 安全衛生講習会、安全就業パトロールを実施して会員の安全な就業に努めている。 ・ 職場体験(学習)を積極的に受入れ、施設及び活動のPRに努めている。 ・ 消火器の取扱い講習を実施し、会員の安全確保に努めている。